

新型コロナの影響で、家計が急変した世帯に 臨時特別給付金を10万円現金給付します

詳しくは☎社会福祉課☎788-4933

本給付金は市役所への申請が必要です。住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金を重複して受け取ることはできません。



対象▶ 令和3年1月以降、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、世帯全員の収入が住民税非課税世帯相当水準以下となった世帯

申請受付期間▶ 9月30日(金)まで《当日消印有効》

給付額▶ 1世帯あたり10万円 ※給付にあたっては、本市への申請が必要です。

提出書類▶

- ①住民税非課税世帯などに対する臨時特別給付金(家計急変世帯分)申請書(請求書)
 - ②申請者の本人確認書類(運転免許証、健康保険証、マイナンバーカード〈表面〉、年金手帳など)の写し
 - ③申請者の世帯の状況を確認できる書類(住民票など)
 - ④受取口座を確認できる書類の写し(通帳やキャッシュカードの写し(コピー)など)
 - ⑤簡易な収入(所得)見込額の申立書
 - ⑥「令和3年度中の収入の見込額(源泉徴収票、確定申告書など)または「任意の1か月の収入(給料明細など)」の状況を確認できる書類
- ※①、⑤の申請書類は、市ホームページからダウンロードまたは社会福祉課窓口で入手できます。



家計急変世帯に該当するかなど詳しくは市HPを確認してください。

シリーズ 2050年ゼロカーボンシティの実現に向けて

第1回 地球温暖化のメカニズム

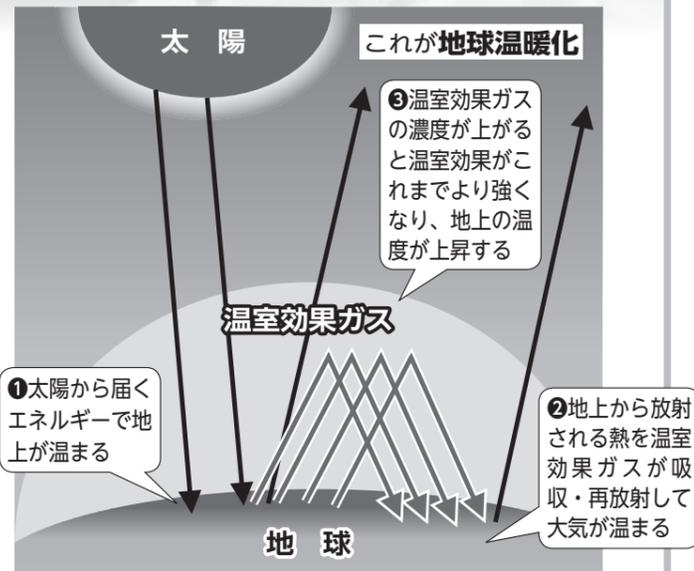
詳しくは☎環境対策推進課☎788-4925

市では、地球温暖化対策の推進のため、国によるカーボンニュートラル宣言(2050年までに温室効果ガス実質ゼロを目指すもの)の考えに沿い、令和3年10月30日に「桶川市ゼロカーボンシティ宣言」を表明しました。

そこで、市では、地球温暖化対策への取り組みを更に推進していくため、定期的に広報、ホームページで情報を発信していきます。

今回は「地球温暖化がなぜ起こるのか」についてです。

※温室効果とは…太陽からの熱(エネルギー)を受け温まった地上から放射される熱により、地表と宇宙の間にある大気を温め、地球上を一定の温度に保つ役割のこと。この温室効果をもたらす気体を温室効果ガスと言い、主な温室効果ガスとして、二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、代替フロンなどがあります。



地球温暖化による影響

気候変動による災害の激甚化、海面の上昇、生態系への影響、農水産業への影響など



▲桶川市ゼロカーボンシティ宣言について、詳しくはこちら

つまり、「温室効果」が悪いわけではなく、温室効果ガスが増えたことで、温室効果が強まり、地球上の気温が上がりすぎることによる右記のような弊害が問題へに～



◆次回は「カーボンニュートラル」について、解説します。

新型コロナワクチン追加(3回目)接種のスケジュールについて

詳しくは☎健康増進課☎786-1855

令和3年10月以降に2回目の接種を終えた人の追加(3回目)接種のスケジュールをお知らせします。

18歳以上の 人	2回目接種完了日		接種券発送予定日	予約開始日	
	令和3年	10月1日(金)~15日(金)	発送済み	3月29日(火)	午前9時から
	10月16日(土)~31日(日)	4月7日(木)から順次	4月12日(火)		
	11月1日(月)~15日(月)	4月21日(木)から順次		接種券が届き次第、予約できます。	
	11月16日(火)~30日(火)	5月9日(月)から順次			

※以降のスケジュールは、決定次第、市ホームページなどでお知らせします。

【予約できる期間とワクチン】

予約期間追加日	新たに予約できるようになる期間	予約できるワクチン
4月12日(火) 午前9時から	5月2日(月)~8日(日)	ファイザー社
	5月9日(月)~15日(日)	ファイザー社
	5月16日(月)~22日(日)	武田/モデルナ社
	5月23日(月)~29日(日)	ファイザー社

※早ければ4月から12~17歳の追加接種を開始する方針が新たに国から示されました。詳細が分かり次第、市ホームページでお知らせします。

小児(5~11歳)の1・2回目接種のスケジュール

詳しくは☎健康増進課☎786-1855

新たに国から小児用新型コロナワクチンの供給スケジュールが示されたため、4月20日(水)以降の本市の接種体制を以下のとおりお知らせします。



予約期間追加日▶ 4月1日(金)午前9時から

新たに予約できるようになる期間▶ 4月20日(水)~5月29日(日)

予約枠数▶ 約4,000回分

接種医療機関▶

朝日内科歯科医院	桶川駅前こどもクリニック
栗原クリニック	豊田医院
ベニバナファミリークリニック	渡辺医院

※以降の体制については決定次第、市HPなどでお知らせします。※日により接種できる医療機関が異なります。また、予約枠数の少ない週がある場合もあります。

2回目分の予約やキャンセルについて

- これまでの予約では、2回目の接種日も同時に予約してもらった仕組みでしたが、接種対象者の約8割が接種できるだけのワクチンが4月中に供給されることが示されたため、**4月1日(金)以降は1・2回目予約をそれぞれ都合の良い日時から選択できるようになります。**(4月19日(火)以前も空きがあれば自由に予約できます。)
- 4月1日(金)午前9時までは、2回目分のキャンセルおよび再予約がコールセンターのみでの対応となりますので、ご了承ください。

その他の留意事項

- ※3月31日(木)午後6時~4月1日(金)午前9時は、システムメンテナンスを行うため予約できません。
- ※**1回目の接種後、2回目の接種前に12歳の誕生日が来る場合は、1回目の接種時の年齢に基づき、2回目も1回目と同じ小児用のワクチンを接種します。**
- ※**12歳の誕生日の前日以降は、小児用のワクチンの1回目接種はできません。これから12歳になる人はご注意ください。**
- ※接種に当たっては、保護者の同伴が必須となります。
- ※接種の際には、母子健康手帳も忘れずにお持ちください。

4/1(金)から 予約代行会場が 縮小します

予約代行をベニバナウォーク桶川、坂田コミュニティセンター、保健センターの市内3か所で行っていましたが、**4月1日(金)から保健センターのみでの受付となります。**



「平治物語絵巻」三条殿夜討 ポストン美術館所蔵。平治の乱（1159年）

桶川にゆかりの武蔵武士

あ だ ち と お も と 足立遠元

～実はこの人、鎌倉殿を支えた
13人の合議制の一人なんです～

後編

詳しくは文化財課・歴史民俗資料館
☎786-4030

鎌倉幕府を支えた13人の家臣団に「足立遠元」という人物があり、大河ドラマ「鎌倉殿の13人（NHK）」にも登場します。皆さんは足立遠元が桶川にゆかりがあることをご存知でしょうか。前回（広報おけがわ3月号）に引き続き、足立遠元についてご紹介します。

足立遠元は どのような人物だった？

足立遠元は、文武両道の武将であったといわれています。それは武士として数々の戦で功績をあげ、鎌倉幕府の官僚としても才を発揮したことから推測できます。

遠元が本格的に歴史に登場するのは1159年（平治元年）の「平治の乱」です。平氏一門が権勢を振るっていた当時、その中心にいた信西（藤原通憲）と平清盛を倒すために藤原信頼と源義朝（源頼朝の父）が手を結び、クーデターを起します。足立郡司であった遠元はこの時、南関東に勢力を持っていた源義朝に従って参戦します。この戦いで武功をあげた遠元は「右馬允」という官職を受けました。

最終的に平治の乱は、平氏側の勝利に終わり、遠元ら源氏側は敗走することとなります。平治の乱後に平

氏は勢力を伸ばし、武蔵国においても平清盛の子・知盛が武蔵守に任じられ、遠元が郡司であった足立郡も平氏の支配下となります。こうした中で、遠元も歴史上からしばらく姿を消すこととなります。

1180年（治承4年）8月、平治の乱に敗れ伊豆国（現在の伊豆半島、伊豆諸島）に流刑されていた義朝の子・源頼朝は、平氏追討の命を受け挙兵します。

相模国石橋山において一度は敗戦したものの、真鶴から安房国（現在の千葉県南部）へ逃れ、上総氏や千葉氏など在地の武士を味方につけ、勢力を増しながら武蔵国に入国しました。この時、遠元は、豊島氏や葛西氏とともに真つ先に頼朝を出迎え加勢しました。この忠誠心に応えた頼朝は早速に足立郡を遠元に安堵し（領地を承認すること）、遠元は足立郡司に復帰しました。

1184年（元暦3年）、頼朝は公文書や財政など政務の中心を司る「公文所」を設置します。この機関の役人である「寄人」には京都から優秀な官僚たちが招かれましたが、遠元は武蔵武士として唯一、寄人の一人に異例の抜擢を受け、政治に参画していきます。

その後、遠元が属す公文所は、鎌

倉幕府成立後には將軍の「政所」となり、幕府の中樞を担うようになりました。

1199年（建久10年）1月、源頼朝が亡くなると、その子頼家が第二代將軍となります。この時に、幕政は13人の有力御家人による合議制の上に運営されることとなりました。これが「鎌倉殿の13人」と言われる人たちで、遠元もその一人として引き続き、幕政の中心を担っていくこととなりました。

合議制の13人は、幕府内部に政変が起るようになると、失脚したり謀殺されたりと、徐々に姿を消していきます。

では、遠元はどうなったのでしょうか。鎌倉時代の歴史書である「吾妻鏡」によると、1207年（建永2年）の記述を最後に遠元の名は見られなくなりました。1211年以降は遠元の息子「足立八郎元春」の名が登場するようになり、子へと職を継いだ遠元は、この頃すでに没していたと推測されています。

遠元は、政変が続く激動の鎌倉初期に、地位を失うことなく幕府の宿老として天寿を全うした武将であったようです。文武に優れた稀代の武蔵武士足立遠元は、同時に優れた処世術の持ち主であったのかもしれない。

※1 郡司：郡を治める地方官
※2 財政や政務を行う所